

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	成人各種健康相談事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。						
事業の概要	健診結果相談・栄養相談・健康相談等を実施し、保健師、管理栄養士等が指導及び助言を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	997		3,061		480	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	健康相談を受けた人数	人	223	382	500	500
			%				
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症対策のため日時完全予約制として実施したため、健診結果相談会は対象者を絞り実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市食生活改善推進員協議会補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	食生活改善推進員協議会による地区組織活動の費用の一部を負担し、地域の健康づくりに寄与する。						
事業の概要	市民の健康意識の向上と推進を図るため、さくら市食生活改善推進員協議会の事業を健康増進事業と認定して事業経費として43,000円の補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	0	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	活動	会員の年間活動延参加人数	人	19	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	会員の高齢化に伴い年々会員が減少している。また、コロナ感染症対策のため対面での事業をすることができなかった。令和4年度活動休止					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康まつり開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	和氣 貴子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	市民が心身共に健康でいきいきと生活できるようにするため、健康づくりのための様々な取組を広く周知し、健康づくりに対する意識の向上を図ることを目的に事業を実施する。						
事業の概要	ゆめさくら博開催時の参加団体として10月に実施。健康相談や健康づくり団体の活動紹介など、健康に関する正しい知識の普及と健康づくりの意識の向上を目的に開催する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	336		149		545	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	健診、相談、体験コーナー等の来場参加数	人	79	49	120	120
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、健康情報提供、健康相談、歯科相談、栄養相談、骨密度測定コーナー等は実施せず、20代のワンコイン健診のみ実施した。新型コロナウイルス収束後は、健康づくり推進イベントとして再開できるよう準備していく。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生活習慣病予防事業			事業開始年度	平成24年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	生活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及啓発を図り、自らの健康は自らが守るという認識と自覚を高め、健康の保持増進を資する。						
事業の概要	広報等を活用し、生活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及啓発およびコロナ禍でも取り組める身体活動の推進を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	110	65	174			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	日常生活の中で身体活動を実施していない人の割合の減少	%	48.6	48.1	40	40
	成果	運動を実施していない人の割合の減少	%	58.5	58.8	55	55
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症対策のため、外出自粛等により運動機会の減少が考えられたが自宅で出来ることを普及啓発した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら健康マイル事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	健康づくりの取組みに対しインセンティブ（報奨）を提供することにより、健康的な生活習慣を定着させ、市民の健康寿命の延伸と医療費削減を目的とする						
事業の概要	対象者の健康づくりの取組みに対しインセンティブを提供することで、行動変容を実現させる						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,563		994		776	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	健康的な生活習慣を継続している人数	人	1,905	3,638	4,000	4,000
	成果	健康づくり事業に参加している人数	人	7,146	9,856	10,000	10,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	30日チャレンジでは、個々が自分の生活習慣を振り返るきっかけと継続支援に繋げることができた。歩数計アプリの登録者は増加しているが、高齢者からは応募が難しいという意見があり、毎月操作説明会を実施した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康マイルカード事業（国保対象）			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	市民生活部 市民課			担当者	小堀 梨絵		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	健康づくりの取組みに対し、インセンティブ（報奨）を提供することにより、健康的な生活習慣を定着させ、市民の健康寿命の延伸と医療費削減を目的とする。						
事業の概要	対象者の健康づくりの取組みに対しインセンティブを提供することで、行動変容を実現する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	763	47	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	健康的な生活習慣を継続している人数	人		99	300	300
	成果	健康づくり事業に参加している人数	人		195	1000	1000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	個々が自分の生活習慣を振り返るきっかけと継続支援に繋げることができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	●拡大 ○現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	糖尿病重症化予防事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	市民生活部 市民課			担当者	小堀 梨絵		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	医療費の抑制						
事業の概要	栃木県糖尿病重症化予防事業プログラムに沿って行う事業						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,007	603	1,980			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
		保健指導実施者数	人	10	6	18	18
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和4年度の目標18人に対し実績6人					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	高齢者保健介護一体的実施事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	健康福祉部 高齢課			担当者	原田 祐太郎		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	地域の健康課題の分析や対象者を把握し、生活習慣病対策など高齢者保健事業と介護予防事業を一体的に実施						
事業の概要	地域の健康課題の分析や対象者を把握し、生活習慣病対策など高齢者保健事業と介護予防事業を一体的に実施						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,131	3,176	6,830			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	活動	支援実施割合	%	93.4	100	100	95
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象者抽出基準に該当した者のうち、対象者とした者全員に対し支援を実施した。地域の通いの場等を活用した個別的支援については、計画上の参加見込者数以上の参加があった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	各種がん検診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	がん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡者の減少につなげる。						
事業の概要	厚生労働省のがん検診の指針に基づき、各種がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺）を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	59,426	59,200	75,890			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	がん検診精密検査の受診率（胃＋肺＋大腸＋子宮＋乳、前々年度）	%	76.8	78.1	100	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	集団検診は日時予約制で密を回避しながら行う。 コロナ感染拡大により、要精密検査者の医療機関受診控えがあった。 電話等で勧奨した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	がん検診推進事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	がん検診（乳がん・子宮頸がん）の受診率の向上を推進することにより、がんの早期発見、早期治療により、がんによる死亡者数を減少させる。						
事業の概要	国の基準による子宮がん検診（20歳）・乳がん検診（40歳）の対象者に無料クーポン券を配布する。また、受診の必要性について個別周知をする。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,414	1,260	1,550			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	クーポン券を利用した人数（子宮がん・乳がん）	人	110	99	120	120
	成果	クーポン利用者のうち精密検査の受診率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	クーポン発送後、検診未受診者に通知で再度受診勧奨をした。 精密検査必要者の精密検査受診率は100%であった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	人間ドック補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 市民課			担当者	小堀 梨絵		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	疾病の早期発見により医療費抑制を図る。						
事業の概要	人間ドック・脳ドックを受診した30歳以上の国保被保険者に20,000円の補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	7,420	7,160	8,000			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	活動	人間ドック・脳ドック補助件数	件	371	358	400	400
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和4年度の目標400人に対し実績358人					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	結核検診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	結核の発生を予防し、及びその蔓延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図る。						
事業の概要	65歳以上の市民を対象として、年1回の結核に係る定期の健康診断を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,367	2,267	1,942			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	65歳以上の肺がん・結核検診の延べ受診者数	人	4,506	4,537	4,600	4,600
	成果						
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和4年度は市内巡回ではなく、会場を保健センターで実施した。 会場が保健センターのため来所者の駐車場の問題は起きず安全に実施できた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康診査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	生活習慣病予防のため、正しい知識の普及啓発と疾病の早期発見に努める。						
事業の概要	30代からの基本健診、歯周病検診、骨粗しょう症検診、胃がんリスク検診など幅広く健康診査を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	14,809	14,615	18,253			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	30代の集団健診受診者数	人	498	429	500	500
	成果	歯周疾患検診受診者数		228	191	220	220
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	30代の健診対象者数は減っているが、40歳前の早期から自分の身体の状態を知り健康に関心をもつことは重要である。健診は感染対策を行いながら実施できていたので、今後は健診の必要性を周知していく。 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
見直し余地	判定						
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	後期高齢者健診事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民生活部 市民課			担当者	小宮山 美穂子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	生活習慣病の早期発見により、後期高齢者の健康の保持増進を図り、生活の質を確保し、安心で安定した生活の向上に資する。						
事業の概要	保健センターでの集団健診、指定医療機関での人間ドック及び市内医療機関での個別健診の実施						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	10,079		11,473		14,096	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	受診率（市町村報告受診率）	%	26.94	29.12	30	30
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和4年度目標値 30%に対し29.12%					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	特定健康診査等事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民生活部 市民課			担当者	小堀 梨絵		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	特定健康診査により生活習慣病（メタボリック症候群）の抑制を図る。						
事業の概要	40歳以上の者に対して特定健康診査及び特定保健指導を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	21,058	20,789	30,830			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	受診率	%	46	45.8	60	60
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	目標値が高く、達成するのは難しい状況である。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	受診行動適正化指導事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	市民生活部 市民課			担当者	小堀 梨絵		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	重複・頻回受診者、重複服薬者数の減少						
事業の概要	レセプトから医療機関への過度な受診が確認できる対象者、または重複して服薬している対象者を特定し指導する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	453	450	454			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
		保健指導実施者数	人	6	4	10	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	目標値10人に対し実績は4人だった。訪問指導後の対象者の服薬状況は、4人とも改善の確認がとれた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業			事業開始年度	令和 4年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	がん治療を受けながら社会生活を送る方の負担を軽減し、就業及び療養生活の質の向上を図る						
事業の概要	がん治療に伴う外見の変化をカバーするための医療用ウィッグ・乳房補整具を購入する費用の一部を助成						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	310	700			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	医療用ウィッグ申請者数	人		10	20	20
	成果	乳房補整具申請者数	人		1	5	5
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ホームページや医療機関からの説明で申請に来る方が多かった。 引き続き周知に努める。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域自殺対策強化事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	畑山香織		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	03	心の健康づくりの推進				
事業の目的	「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指して、自殺対策を総合的に推進し、自殺者の減少を図ることを目的とする。						
事業の概要	自殺対策の普及啓発活動として、市民を対象とした講演や啓発用品の配布を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	321		297		607	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	活動	自殺者数	人	10	6	5	5
	活動	ゲートキーパー養成研修受講者数	人	433	504	550	550
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ゲートキーパー養成研修を通じて、市民に自殺対策の知識が浸透し、自殺者数は減少となった。しかし、依然として全国的にコロナ禍での自殺者数は高い状態で推移しており、さくら市においても更なる啓発活動が必要である。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	新型コロナウイルス対策事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	長島 雅人		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	04	感染症予防対策の充実				
事業の目的	新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の発生に備え市民を感染から守る。						
事業の概要	新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の発生に備え、対策に必要な感染症防護対策キットや感染防止用マスク等を購入し備蓄する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,282	2,694	1,199			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	防護服備蓄数	セット	599	685	600	600
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	4年度は、クラスターが発生した民間施設等に、拡大防止のため、防護服キットを配布したが、一定の備蓄数を確保している。 今後は新型インフルエンザ等の発生に備え、使用期限の過ぎたものを処分し、新しいもの ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	任意予防接種事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	斎藤 利江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	04	感染症予防対策の充実				
事業の目的	予防接種法に基づく「定期接種」以外で日本で受けられる予防接種と、定期接種の期間外に受ける任意予防接種費用を助成しり患者を減らす。						
事業の概要	子どものインフルエンザ、おたふくかぜ、帯状疱疹などについてそれぞれ定めた金額を助成。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	13,434	11,607	36,292			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	子どものインフルエンザ接種児数	人	4,816	4,201	4,900	4,900
				290	-	-	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症やワクチン接種の影響もあってか若干接種者数が減少している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保交付金事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	長島 雅人		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	04	感染症予防対策の充実				
事業の目的	市内医療機関にワクチン接種体制確保のための交付金を交付することにより、医療機関における接種の体制確保および円滑化を図る。						
事業の概要	個別接種、小児・乳幼児への接種、複数種類のワクチン接種、インターネット予約の自己管理などを実施した医療機関に対し、交付金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	24,700	9,600	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
		個別医療機関における、ワクチン接種実施率	%	17	17	1	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	当初より実施の意向を示していない1医療機関以外は、すべて接種を実施した。令和5年度は、1医療機関のみを計画している。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	長島 雅人		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	04	感染症予防対策の充実				
事業の目的	新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に実施する。						
事業の概要	新型コロナウイルスワクチン接種実施のための体制確保、集団接種・個別医療機関接種、コールセンター運営、接種券の作成・発送、ワクチンの手配・管理・配送						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	338,873		232,298		4,291	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	接種率（最新の接種に係るもの）	%		48.4	30	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ほぼ想定の数値となった。 オミクロン株ワクチン接種は5年度も継続するため、最終的な接種率ではない。 令和5年度は、5類移行に伴い、接種率の低下が見込まれる。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公的病院等支援事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	和氣 貴子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	05	地域医療体制の整備				
事業の目的	救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。						
事業の概要	救急医療などの不採算医療における機能維持を図ることが多大な困難を極める中で、当該医療を担う公的病院等に対し、地域医療体制の維持を図るため、交付金を交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	13,000	13,000	13,000			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	救急患者の受け入れ延べ人数	人	1,880	1,775	1,900	1,900
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	救急医療の確保等を目的としているため、対象病院の救急患者受入れ延べ数を指標とした。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	和氣 貴子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民の総合的な保健衛生の向上及び健康づくりの推進に寄与する。						
事業の概要	健康相談、保健指導及び健康診査等の地域保健に関し必要な事業を行うための施設の使用と、センター施設の良好な維持管理のため、消防、空調等保守業務、修繕等を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	9,705	5,252	11,760			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	センター稼働率	%	77.3	78.7	80	80
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	保健センター来所者が不都合なく利用できるように維持管理に努めたことにより地域保健事業の充実し、心身の健康づくりの推進につながっている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	和氣 貴子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民の総合的な保健衛生の向上及び健康づくりの推進に寄与する。						
事業の概要	健康相談、保健指導及び健康診査等の地域保健に関し必要な事業を行うための施設の使用と、センター施設の良好な維持管理のため、消防、空調等保守業務、修繕等を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	3,334	3,544	3,642			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	センター稼働率	%	43.4	60.2	60	60
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	保健センター来所者が不都合なく利用できるように維持管理に努めたことにより地域保健事業が充実し、心身の健康づくりにつながっている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		